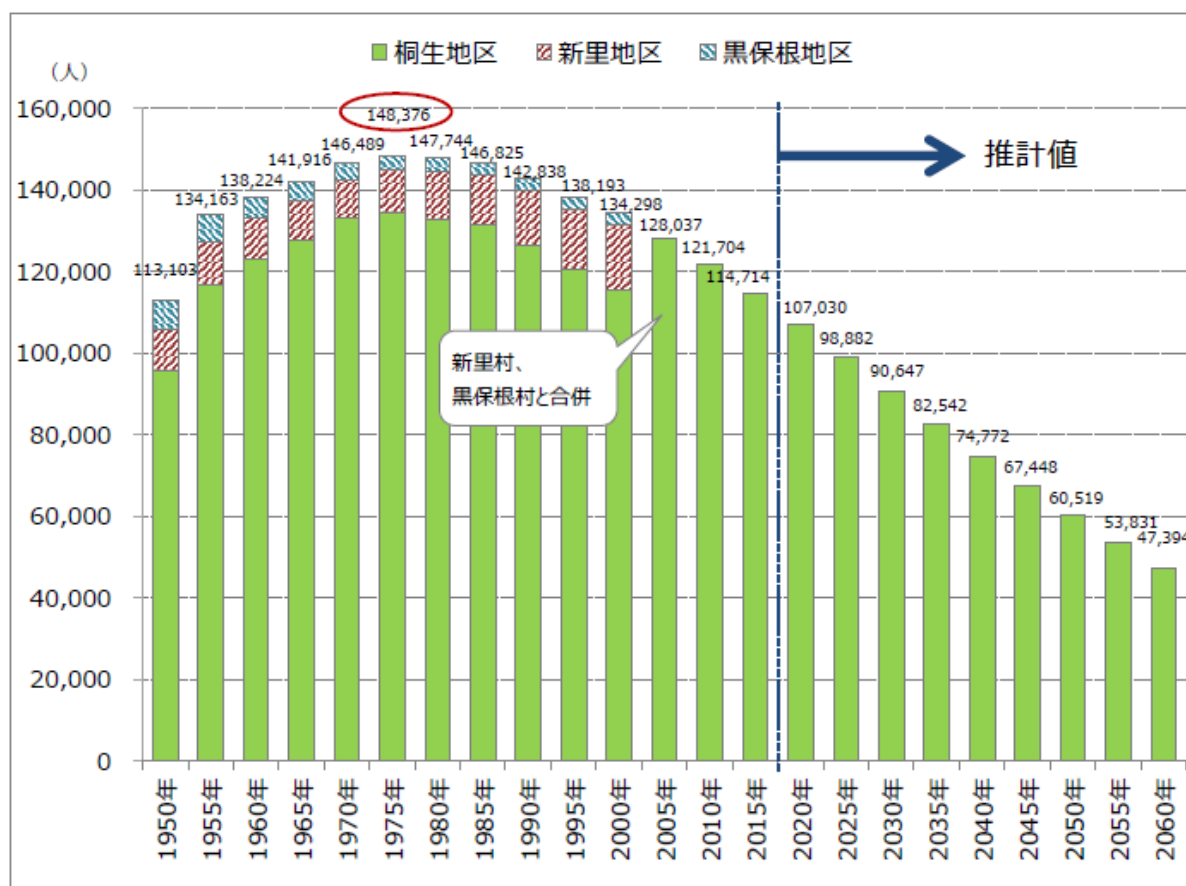


## ○桐生市立小中学校の児童生徒数・学級数の推移と見込み

## 1 桐生市の人口の状況【出典：『桐生市人口ビジョン（令和2年度改訂版）』】

## ① 総人口の推移と将来推計

桐生市の人口は、1975（昭和50）年に148,376人となりピークを迎え、その後、減少傾向に転じています。また、2020（令和2）年以降の推計値においても、大幅な減少が見込まれています。



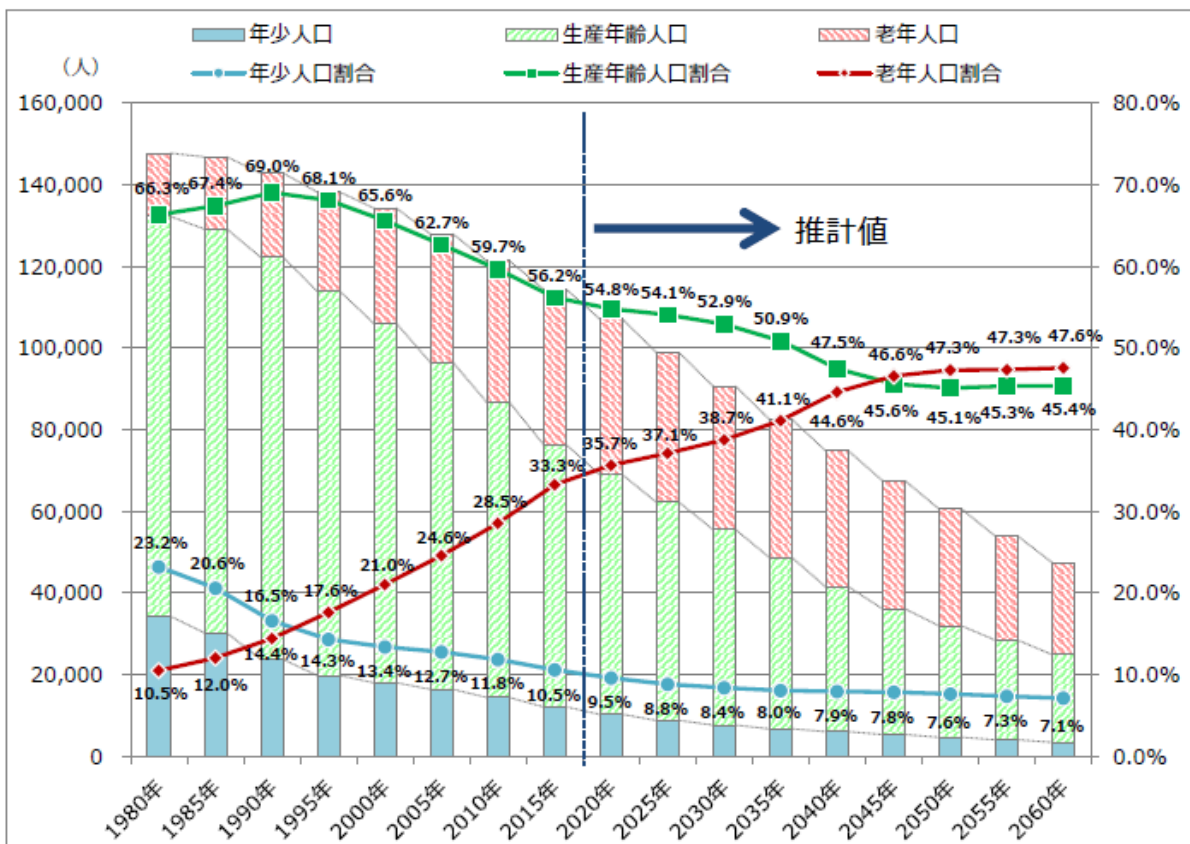
【出典】2015年以前は国勢調査、2020年以降は、社人研による「日本の地域別将来推計人口（2018年推計）」に準拠し、2060年まで延伸した推計

② 年齢3区分別人口の推移

老年人口（65歳以上）は増加傾向にあり、2035年には総人口の40パーセントを超えることが推計されていますが、年少人口（0～14歳）と生産年齢人口（15～64歳）の割合は減少が見込まれます。

総人口については、2020（令和2）年が107,030人、20年後の2040（令和22）年が74,772人であり、32,258人減少（30.1%減少）することが見込まれます。

特に、年少人口については、2020（令和2）年が10,213人、20年後の2040（令和22）年が5,923人であり、4,290人減少（42.0%減少）することが見込まれます。



(単位：人)

	1980年	1985年	1990年	1995年	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
年少人口 (0～14歳)	34,257	30,181	23,627	19,760	17,933	16,309	14,353	12,062	10,213	8,707	7,579	6,618	5,923	5,277	4,602	3,939	3,356
生産年齢人口 (15～64歳)	98,012	98,977	98,602	94,135	88,094	80,226	72,413	64,311	58,657	53,474	47,948	42,003	35,485	30,767	27,286	24,408	21,494
老年人口 (65歳以上)	15,472	17,667	20,593	24,298	28,247	31,429	34,625	38,071	38,160	36,701	35,120	33,920	33,364	31,404	28,632	25,483	22,545
総人口	147,744	146,825	142,838	138,193	134,298	128,037	121,704	114,711	107,030	98,882	90,647	82,542	74,772	67,448	60,519	53,831	47,394

※総数には年齢不詳含む

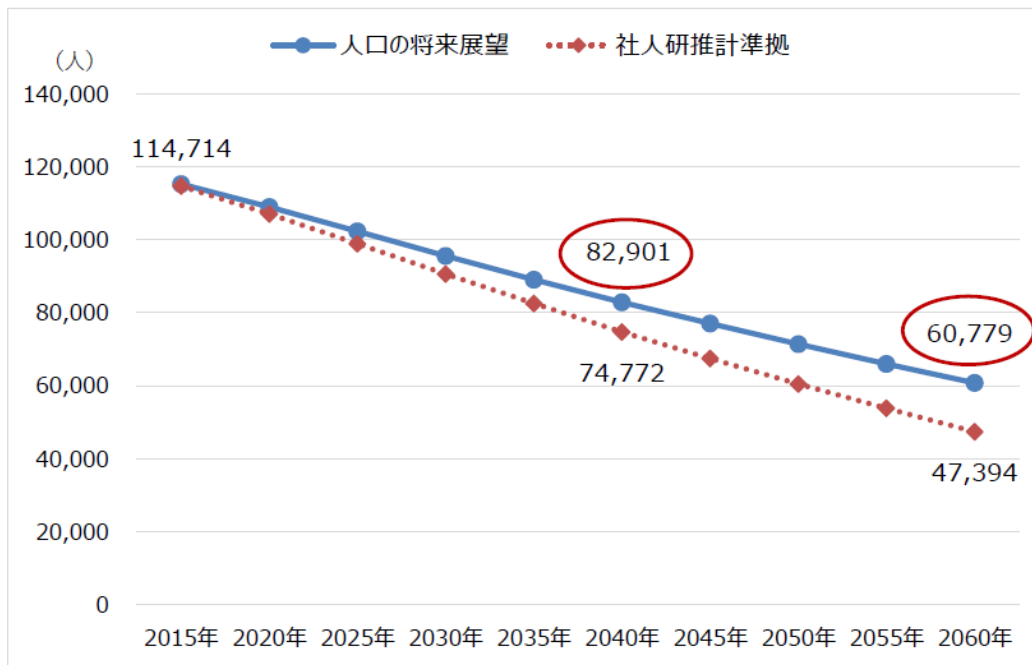
【出典】2015年以前は国勢調査、2020年以降は社人研「日本の地域別将来推計人口」に基づくまち・ひと・しごと創生本部による推計値

### ③ 人口の将来展望

『桐生市人口ビジョン（令和2年度改訂版）』では、桐生市が現状取り組んでいる事業と、今後、「桐生市総合戦略」において取り組む「しごと」と「ひと」の好循環の創出とそれを支える「まち」の形成を促進し、合計特殊出生率、移動率の改善を図ることで、本市が目指すべき将来の人口を展望しています。

まち・ひと・しごと創生本部の推計では、2040年に約75,000人、2060年に約47,000人まで人口が減少するとされていますが、本市の目指すべき将来の方向を実現し、2040年に約83,000人、2060年に約61,000人の人口を維持することを目指しています。

#### ■人口の将来展望と推移



【出典】社人研推計準拠について、2015年は国勢調査、2020年以降は、社人研による「日本の地域別将来推計人口（2018年推計）」に準拠し、2060年まで延伸した推計

#### ■総人口と年齢3区分別人口の推移

(単位：人、%)

	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
年少人口 (0～14歳)	12,062 10.5%	11,265 10.3%	10,587 10.3%	9,815 10.3%	9,450 10.6%	9,350 11.3%	9,071 11.8%	8,465 11.9%	7,679 11.6%	7,070 11.6%
生産年齢人口 (15～64歳)	64,314 56.1%	59,780 54.8%	55,215 54.0%	50,871 53.2%	45,977 51.6%	40,562 48.9%	37,050 48.1%	34,636 48.5%	32,636 49.5%	30,388 50.0%
老年人口 (65歳以上)	38,078 33.2%	37,978 34.8%	36,532 35.7%	34,878 36.5%	33,615 37.8%	32,989 39.8%	30,933 40.1%	28,323 39.7%	25,655 38.9%	23,321 38.4%
総人口	114,714	109,023	102,335	95,564	89,042	82,901	77,055	71,424	65,970	60,779
総人口指数	100.0	95.0	89.2	83.3	77.6	72.3	67.2	62.3	57.5	53.0

※総数には年齢不詳を含む

## 2 児童生徒数・学級数の推移と見込み

### ① 児童生徒数・学級数の推移と見込み【資料7】

令和3年度の小学校の児童数は4,147人、特別支援学級を除く学級数は168学級であり、10年前と比較すると、平成23年度の児童数6,177人から2,030人減少(32.9%減少)、学級数233学級から65学級減少(27.9%減少)しています。

また、令和3年度の中学校の生徒数は2,383人、学級数は81学級であり、10年前と比較すると、平成23年度の生徒数3,173人から790人減少(24.9%減少)、学級数99学級から18学級減少(18.2%減少)しています。

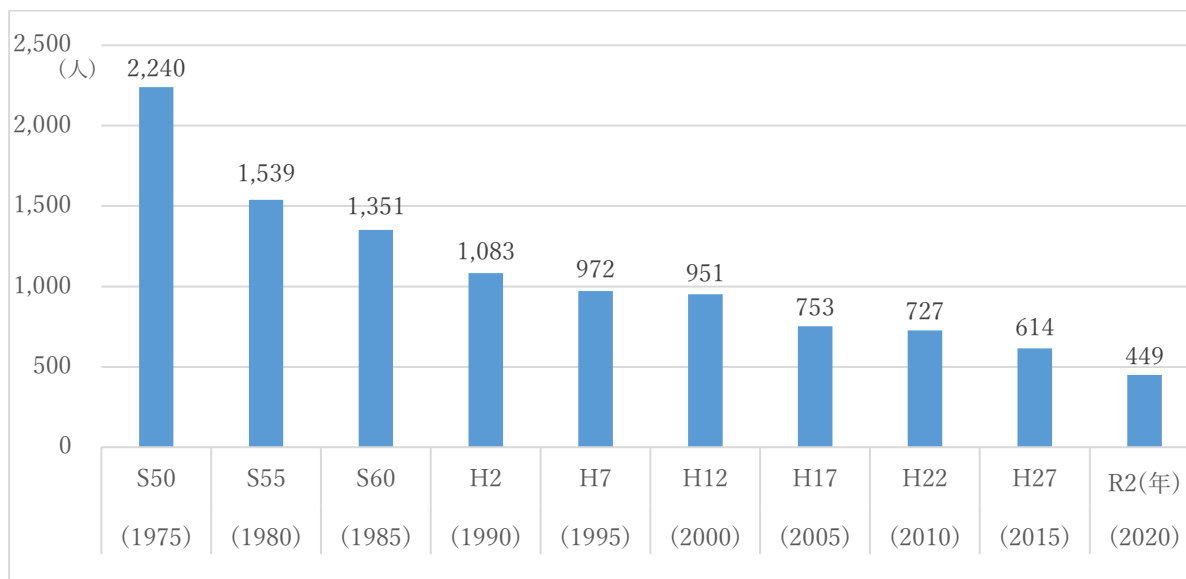
以上のように、平成23年度から令和3年度までの10年間で、児童生徒数が2,820人減少しています。

さらに、令和3年5月1日時点の住民基本台帳における未就学児童数をもとに、6年後の令和9年度を推計すると、小学校の児童数は3,191人、学級数は149学級となり、児童数は956人減少(23.1%減少)、学級数は19学級減少(11.3%減少)することが見込まれます。また、中学校の生徒数は1,919人、学級数は69学級となり、生徒数は464人減少(19.5%減少)、学級数は12学級減少(14.8%減少)することが見込まれます。

### ② 出生数の推移

桐生市の出生数は、1975(昭和50)年に2,240人でありましたが、2010(平成22)年には727人となり、さらに、2020(令和2)年は、449人に減少しています。

桐生市の出生数の推移



※平成17年6月13日に新里村・黒保根村と合併

【出典】桐生市の人口動態

### ③ 児童生徒数・学級数の減少による学校現場の課題

学校規模や配置による教育環境の不均衡や格差といった問題が生じる可能性や、新学習指導要領が目指す主体的・対話的で深い学びを実現することが困難になることが懸念されています。

具体的には、学級数が少ないことにより、クラス替えができず、人間関係が固定化しやすくなり、児童生徒が集団の中で切磋琢磨しながら学んだり、社会性を高めたりすることが難しくなるほか、中学校では、部活動の種類が限定されてしまいます。

また、学級数が少なくなると、配置される教職員数が少なくなるため、教職員一人当たりの校務負担等が増え、児童生徒に向き合う時間が少なくなることや、教員同士の指導技術の伝達ができなくなること、学校が直面する様々な課題に組織的に対応することが困難になり、それに伴い児童生徒の教育にも様々な影響を与えることが懸念されています。